

市町村名	本部町
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】	

事業名	農林水産担い手支援住宅整備事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-エ 農林漁業の担い手の育成・確保 及び経営安定対策等の強化
担当部課名	農林水産課	事業実施年度	令和元年度 ~ 令和3年度
		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)

事業内容
農水産業の新たな担い手確保のため、新規就業者向けの住宅を整備し、経営が安定するまでの期間の支援を行うことで産業振興及び定住促進の推進を図る。

実施方法
 直接実施
 委託
 補助
 負担
 その他()

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】	A. 予算現額	7,150	28,237	164,521	199,908	
	B. 執行済額	7,150	26,966	164,520	198,636	
	うち 交付金充当額	5,720	21,572	131,614	158,906	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	95.5%	100.0%	#DIV/0!	99.4%
	執行状況の説明	R2年度において、用地取得に日数を要したため、翌年度に繰り越した。 最終的な執行率は99.4%であり、計画どおり事業を執行できた。				

	活動目標(指標)	達成状況				
		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業期間中の 活動目標	産業支援住宅の基本計画の策定	目標	計画策定			
		実績	計画策定			
	産業支援住宅の実施設計、土地調査測量業務及び用地購入の実施	目標		実施		
		実績		実施		
	建築工事の実施	目標			工事実施	
		実績			工事実施	

	成果目標(指標)	進捗状況				
		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
事業期間中の 成果目標	産業支援住宅の基本計画の策定完了	目標	策定完了			
		実績	策定完了			
	産業支援住宅の実施設計、土地調査測量業務及び用地購入の完了	目標		業務完了		
		実績		業務完了		
	建築工事の完了	目標			建築工事の完了	
		実績			建築工事の完了	

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R4年度 目標/発現年度	
事業完了後の 成果目標	農水産業新規従事者入居戸数: 4戸	目標	4戸				100.0%
		実績	4戸				100.0%
		目標					
		実績					

状況説明

【R4年度】
・R4年度の成果目標の達成に向け、入居者の募集をR4.1～2月に行い、4月中旬に供用を開始することができた。

【 年度】
・

【 年度】
・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【R5年度】
・農業及び漁業の新たな担い手(入居者)の定住・定着には、経営の安定化が必要となるため、経営状況等の確認及びフォローアップが重要となる。

【R5年度】
・新たな担い手に対する支援は、経営の指導から栽培技術の向上などを総合的に行う必要があることから、関係機関との連携して支援を行っていく。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R5年度】
・入居者の経営状況の把握に努め、必要に応じて沖縄県や本部町農業委員会、本部漁業協同組合等の関係機関と連携して、就農講座等の研修や経営指導を行うことで経営が定着しやすい環境の整備を図る。

市町村名	本部町
------	-----

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	園芸農業防災施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備
担当部課名	本部町	農林水産課	事業実施年度	平成24 ~ 令和1年度	沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-1-(6)

事業内容
 沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、強化型耐候施設を導入することにより、気象災害による作物への影響を防ぎ、品質の安定化・生産量の向上を図る。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	合計
	A. 予算現額		96,166	19,709	16,596	13,320
B. 執行済額		84,136	18,662	14,774	13,320	130,892
	うち 交付金充当額	67,307	14,929	11,819	10,656	104,711
	執行率(%) (B/A)	87.5%	94.7%	89.0%	100.0%	89.8%
	執行状況の説明	事業は計画通り執行できた。				

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
農業用施設整備の支援	目標	支援	支援	支援	支援	支援
	実績	支援完了	支援完了	支援完了	支援完了	支援完了
【参考指標】 ビニールハウスの整備件数	目標	3件	5件	5件	3件	3件
	実績	3件	5件	4件	3件	3件
	目標					
	実績					

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
強化型パイプハウス設置の完了	目標	設置	設置	設置	設置	設置
	実績	設置完了	設置完了	設置完了	設置完了	設置完了
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R4年度 目標/発現年度
		【R4成果目標】 パイン収穫量1,400kg以上(1棟あたり)	目標	0kg	0kg	1,400kg以上	
	実績	0kg	63kg	1,499kg		1,499kg	
	目標						
	実績						
状況説明	<p>【R2年度】 ・R2年度については、植付開始時であり本年度植え付けしたパインアップルはR4年度収穫予定となる。</p> <p>【R3年度】 ・苗の生育期であるが、一部の苗が大きく成長したため収穫があった。</p> <p>【R4年度】 ・収穫を行う年度となる。大きな台風、病害虫の発生はなく目標達成に至った。</p>						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R2年度】 ・苗の確保を行い、適切な時期に植付を行った。</p> <p>【R3年度】 ・生育状況は概ね順調であったものの、一部の苗に微量要素欠乏の症状が見られた。</p> <p>【R4年度】 ・梅雨時期に豪雨となると果実の品質が落ちるが、導入施設により水分の過多を防ぐことができた。</p>	<p>【R2年度】 ・植付時期には、苗の確保が課題となる。受益面積分の苗は事前に確保できた。</p> <p>【R3年度】 ・苗の栄養状態が悪いと、収穫量に影響が出る。適切な時期に肥料を散布し、善良な育成に努める。</p> <p>【R4年度】 ・全ての苗が同時に結実すると、収穫が追い付かない場合があるため注意する必要がある。</p>
---	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R2年度】 ・植付時期を見据えて、植付圃場とは別に苗の生産圃場を確保し増殖を行う。</p> <p>【R3年度】 ・気温の低下により苗の栄養欠乏が起こりやすい。栽培講習会を適宜開催し、収穫量・品質の向上を図る。</p> <p>【R4年度】 ・ホルモン処理の時期を変えることで、収穫日をコントロールし労働量の平準化を図る。</p>
